

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	義務化されている推進会議の主旨を理解しつつも、場所、メンバー、時間などの整理、調整ができず、いまだ定期的な開催が実効されていない。	利用者、家族等、地域住民、地域包括センター、行政の関係者など、幅広い立場の人が運営会議のメンバーとして、参加していただく実効ある会議の定期開催を目指す。	会議開催の意義につき、運営者、職員の意識をたかめる一方、家族会、地域代表、行政の協力を得ながら、目指す会議の定期開催を定着化する。	3 か月
2	33	利用者の重度化に伴う事業所の対応方針について、本人、家族の理解、納得が十分に得られているか確認の必要がある。	重度や終末期の利用者に対する事業所の対応方針につき、協力医、本人、家族、事業所を交え、早くから話し合わせ、十分理解、納得のうえ、安心して、サービスが受けられるよう努めていく。	本人、家族の意向をふまえ、協力医、職員が連携をとり、安心して状況の変化に対応できるよう力に合った、支援体制作りに取り組む。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月